

## テーマの話 ②

訓子府小学校の校庭にあったハルニシの木が倒れたのはちょうど一年前です。この前の年、訓小は開校100周年を迎え、それを記念して発行された記念誌では学校のシンボルとして紹介されていましたが、昨年8月17日の夜、台風による大風によって半ほどから折れてしまいました。樹木としては、250年以上の原生木でしたので、かなりの高齢だったと思います。



↓あっ、コウモリ！  
おうち、なくなっちゃったね。

誰かが「昼間に倒れていたら子どもたちが危なかったね」「道路側に倒れていたら大変なことになったね」と話していたのを思い出しました。このハルニシは、最期まで子どもたちを見守り、そしてひっそりと安全なところで息絶えたようにも思えます。だからこそ、ただ切って捨てられるのではなく、“何とか再生”の道を探っていたこともあります。そこに現れたのが彫刻家：山本麻璃絵さんだったのです。